

2022年5月6日(金)

14:35~18:00

危機と文化継承

【対象】 どなたでも参加いただけます

【定員】 70名（事前申し込み制・先着順）

【参加費】 無料

【場所】 金沢星稜大学 B21

星稜フォーラム (記念館2F)

〒920-8620

石川県金沢市御所町丑10-1

【申し込み方法】

下記のお申込みフォームURL、

またはQRコードよりご登録ください。

→お申込みフォームURL

<https://business.form-mailer.jp/fms/ba8bdf76167665>

→QRコード



【プログラム】

- 14:35~14:40 開会のことば
齋藤千恵（金沢星稜大学人文学部教授・
グローバル・スタディーズ教育プロジェクト研究所代表
/文化人類学・観光人類学）
- 14:40~14:45 ご挨拶・趣旨説明
桑野萌（金沢星稜大学人文学部准教授/哲学的人間学）
- 14:45~15:25 報告①「危機を救う方策としての祭りと歌の伝承文化
～スサノヲが問いかけたもの」
鎌田東二（京都大学名誉教授・天理大学客員教授/宗教哲学・民俗学）
- 15:25~16:05 報告②「石の聖地～東北、石川、出雲の巨石信仰」
須田郡司（写真家・石の語りべ/ 巨石信仰・聖地）
- 16:05~16:10 休憩
- 16:10~16:50 報告③「加賀藩内のキリシタン信仰の継承について」
奈良献児（高山右近記念資料館館長/キリシタン史・キリスト教実践神学）
- 16:50~17:30 報告④「人口減少とつながりのゆくえ～祭縁から考える」
小西賢吾（金沢星稜大学人文学部准教授/文化人類学）
- 17:30~17:50 総合討論（登壇者全員）+まとめ
- 17:50 閉会のことば 桑野萌

◆対面実施◆

(Zoom配信あり)

◆お申込み受付期間◆

2022年4月28日 (木)

17:00 迄

【趣旨文】

「危機と文化継承」の問題を考える
～信仰、祭儀、つながり（縁）から

近年私たちは、地震、津波、新型コロナウイルス感染症パンデミック、テロ、戦争などのさまざまな大規模災害に見舞われ、これまで大切に築き上げてきた慣習、価値観、信仰などが根底から覆されるような危機に直面しています。こうした危機において私たちは、先人たちが築いてきた文化や信仰の遺産をどのように受け止め、どのように継承していくことができるのでしょうか。

本シンポジウムではこの問いについて、祭りと歌の伝承文化、巨石信仰、キリシタン信仰の継承、人口減少とつながりのゆくえという視点から考えていきます。災害を踏まえ、信仰と文化の継承の問題を多角的な視座から考えることを通して、現代における危機を越え、人類共同体や地球全体の未来を考えるカギとなれば幸いです。

2022年5月

金沢星稜大学

グローバル・スタディーズ教育プロジェクト研究所

桑野萌

【お問合せ先】

E-mail: seiryo-research@seiryo-u.ac.jp

担当：桑野

■主催：金沢星稜大学グローバル・スタディーズ教育プロジェクト研究所